

2018.7.27 <計2枚>

京都大学記者クラブ加盟各社 各位

立命館大学広報課

～障害者スポーツを知る！ する！ つくる！～
小学校5・6年生対象「夏休み自由研究－知らない社会に触れてみよう－」開催

立命館大学産業社会学部の学生20名で組織する「立命館インクルーシブ・ソサイエティ・プロジェクト」(以下、RISP) (※)は、障害者スポーツを通して、障害者に対する理解と共に生きる社会の実現について考える、小学生向け体験型イベント「夏休み自由研究－知らない社会に触れてみよう－」を8月5日(日)、衣笠キャンパスで開催いたします。

今次の学習指導要領の改訂により、教育現場では障害を持った子どもたちも含めすべての生徒に対応した教育が求められ、またオリンピック・パラリンピック教育も推進されることになりました。

本企画では、パラリンピック日本代表選手によるトークショーや車椅子体験などのレクリエーション企画への参加を通して、小学生たちに障害者と健常者が互いに理解しあい、すべての人が暮らしやすい社会を、スポーツを切り口に感じてもらうことを期待しています。

体験会終了後には、障害者スポーツを体験して感じた思いや考え方を夏休みの自由研究として体験ブックにまとめます。

記

日 時:2018年8月5日(日) 9:30～13:00(受付開始 9:15～)

場 所:立命館大学衣笠キャンパス 京都衣笠体育館(京都市北区等持院北町56-1)

内 容:別紙をご覧ください。

対 象:小学校5・6年生(参加無料)

申込み:定員20名 ※定員超過の場合は抽選にて決定。

①お子さまの氏名、②学校名、③学年、④保護者氏名を記載の上、rispx2018@gmail.com宛にメールでお申込みください。

※保護者同伴でご参加ください。

持参物:動きやすい服装、長ズボン、水筒、タオル、室内シューズ、筆記用具

主 催:立命館インクルーシブ・ソサイエティ・プロジェクト、立命館大学産業社会学部スポーツ社会専攻

後 援:京都市教育委員会、京都障害者スポーツ振興会

※ご取材いただける場合は8月3日(金)17:00までに下記へご連絡をお願いいたします。

以上

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学広報課 担当:名和

TEL:075-813-8300 FAX:075-813-8147

既存の枠を超えて未来をつくり出すこと
それが立命館のアイデンティティー

Beyond Borders

別紙

企画内容

■開会式（9:30～9:40）

■パラリンピック日本代表選手のトークショー（9:40～10:10）

パラリンピック水泳選手の笠本明里氏をお招きし、ご自身のキャリア、パラリンピックへの想い、競技環境や支援体制とその問題、日常生活等について幅広くお話いただきます。

■レクリエーション（10:10～10:30）

①パートナーを信じて！目隠し歩行&クイズ！（15分）

- ・2～3メートルの間にまばらに置いてあるコーンに当たらないように歩き進める。
- ・コース半分までは補助付きで歩き、残りコース半分はパートナーの声のみで歩いてもらいます。
- ・コース半分の位置にバリアフリーデザインのもの置き、問題形式で触って当ててもらいます。
- ・最初に全員がゴールしたチームが勝利。

②急いでも、焦らず慎重に。車椅子リレー！（15分）

- ・膝の上のトレイ内に紙コップを三つ使ってお城を作ります。
- ・お城を崩さないように車椅子でリレーを実施します。

■休憩（10:30～10:40）

■キラメキ・シッティングバレー（10:40～11:30）

夏季パラリンピック種目に採用されているシッティングバレー（座ったままでの状態で実施するバレーボール）は、健常者と脚に障害をもった人々が一緒に楽しめるスポーツです。パラリンピック種目やこの競技が持つインクルーシブな特性について体験しながら学びます。

■夏休みの自由研究づくり：今回の総括としての体験ブック作り（11:45～12:15）

参加者一人ひとりがそれぞれの企画や全体を通じて知ったこと・感じたこと・考えたことなどを総括し、夏休みの自由研究として学校に提出できるような冊子を作成します。

■閉会式（12:15～12:45）

※13:00 解散

※立命館インクルーシブ・ソサイエティ・プロジェクト(RIPS)について

障害の有無に関わらず生き生きと活躍できる共生社会の実現を目的に活動している団体。昨年度は、大阪いばらきキャンパスにて、ウィルチェアーラグビー日本選手権・予選の招致と大会運営のマネジメント、ラジオ放送を通じた来場者以外の方への情報発信、そしてウィルチェアーラグビーの認知度向上を目指した地域交流イベントなどの企画・運営を行いました。